湖南高校だより

発行
福島県立湖南高等学校
南長野智学校
校長　行

校訓

誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

直近のスケジュール

１月３１日（金）冬の遠足
２月　４日（火）除雪ボランティア
２月　７日（金）ぬくぬく雪灯籠祭り
２月１２日（水）第５回学校運営協議会
３月　１日（土）卒業式

挑戦・反省・成長

蕎麦プロ収穫祭

十二月十七日（火）、「蕎麦プロジェクト収穫祭」が開催され、講師および来賓の方々など約四十名が来校されました。開会式では、学校運営協議会副会長の薄様、講師の桑名様、阿部様にあいさつをいただきました。また、あいさつの中で今年度のそば収穫量が発表され、本プロジェクト開始以来最大の収量となる百八・五キログラムを達成できました。

今年度は一年生と二年生による「大地讃頌」の歌唱や、「湖南蕎麦口上」の披露もあり、会場は大いに盛り上がりました。そば打ち初挑戦の人も、中野生産組合をはじめとした地域の方々の丁寧な御助言のおかげで、皆でおいしいそばを食べることができました。生徒からは「初めてそば打ちをしました。先輩が優しく丁寧に教えてくれて分かりやすかったです。おかげで美味しいそばを打つことが出来ました。」「今回が高校生活最後のそば打ちでしたが、他学年と楽しく交流できました。三年間で一番の思い出になりました。」といった様々な感想が聞かれました。調理や指導など、御協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。

総探発表会

十二月十七日（火）収穫祭当日の一校時目、視聴覚室にて、蕎麦プロ収穫祭に先立ち、総合探究発表会が行われました。最初の発表は「総探：つなぐ班」による湖南観光プロジェクトの動画上映会、続いて、図書委員会有志による湖南民話劇です。湖南の食を堪能する前に、町の文化を味わいつくそうという今回の企画。地域の方々も交え、会場は大いに盛り上がりました。民話のふるさと湖南伝承会代表の西田忍様をはじめ、今回の民話発表にあたり御協力いただいた多くの皆様、ありがとうございました。

インターンシップ

十一月六日（水）から三日間、二学年がインターンシップに行ってきました。今年度も、渡富建設株式会社、中地手打そばＭＡＲＵ壱をはじめ、多くの方々に御協力をいただきました。生徒は販売・製造・介護・保育・建設業等のさまざまな現場を体験し、働くことの厳しさややりがいを肌で感じ取ったようです。事業所の皆様からは、「仕事の終了後、『次は何を行えばいいですか』など自発的な取組が多く見られた」「挨拶やコミュニケーションがしっかりできていた」「決して楽しいとは言えない作業内容であっても熱心に取り組む姿勢がみられた」などのお褒めの言葉をいただくことができ、三日間の学びをさらに深められたようです。二年生は今回の経験を活かして、これからの本格的な進路活動にむけて準備をしていきます。

プレ・インターンシップ

十一月六日（水）、一学年が地域カダイ探究「プレ・インターンシップ」に行ってきました。今回体験先としてお世話になったのは、地域介護支援センターにじのかけはし、株式会社南東北クボタ湖南営業所、湖南精肉店、福良郵便局、湖南行政センター、サウスレイクコテージ田舎の皆様です。各職場では、仕事の説明や模擬体験などをさせていただきました。

その後に実施されたインターンシップ報告会などでも、一年生からは「お客様の笑顔や信用の為に仕事をするということを学んだ。」などの感想があげられました。今回の経験を通して、地元湖南の産業について直に触れ、地域や働くことの意義についてより深く理解することができました。御協力いただきました地域企業の皆様、御多用中のところ丁寧な御対応をいただきありがとうございました。

進路体験発表会

十二月十二日（木）の六校時目、一・二年生を対象に進路体験発表会を実施しました。三年生の代表八名（就職六名・公務員一名・進学一名）による進路体験の発表と、進路実現のための下級生へのアドバイスがされました。三年生のある生徒は「皆さんには夢がありますか」という問いかけをした上で、就職内定はゴールではなくスタートであり、働いていく中で自分の「夢」を見つけていくことが大切だ、というアドバイスを後輩たちへ伝えてくれました。

また、進学内定者からは「面接練習を多くの先生に指導いただいた。先生方からは様々な視点からのアドバイスをいただき、自分の考えとしてどのように落とし込むべきか迷うこともありましたが、最終的にはそれが視野を広げるという点で良かった」といった実体験に基づく話をしてくれました。下級生からは「日頃から提出物をしっかり提出したい」「常に丁寧な言葉遣いを心がけたい」といった感想がありました。先輩からの力強いアドバイスは、これから進路選択や進路実現に向けて取り組んでいく一・二年生にとって大きな励みとなったことと思います。

冬季休業中の取組

冬季休業の初日である十二月二十日（金）地域の方々の御厚意により、部活動や希望の生徒を中心に「ふるまい餅」を実施していただきました。当日は「臼」と「杵」を使って本格的な餅つき体験にも挑戦しました。生徒たちも慣れない手つきながら、最後にはきれいなツヤツヤしたお餅をつきあげました。運動部の生徒からは「これでパワーをつけて練習を頑張っていけます」といった声があり、餅パワーを提供してくださった地域の方々へ恩返しを誓っていました。阿部様をはじめ御協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

ぬくぬく雪灯籠祭りを開催します

来る二月七日（金）本校および磐椅神社を会場に、「ぬくぬく雪灯籠祭り」を実施します。この行事は、生徒が自身で実行委員会を組織し、地域の皆様の御協力を得ながら、生徒主体で実施する行事となります。当日は城北埼玉高校の生徒も参加予定です。本校の探究活動の成果である「かりんとう」をはじめ、「あったかたぬきそば」や「そばクレープ」などの販売も予定しております。皆様奮って御参加くださいますよう御案内申し上げます。

編集後記

今回は一年間の蕎麦プロの集大成である「収穫祭」に加え、進路関係の記事が多くなりました。特に二年生は修学旅行が明けてから、インターンシップを皮切りに、今後の進路実現のために取り組んでいく時期に入りました。二年生の三学期は「三学年ゼロ学期」です。一年生にも、二学期中の進路ガイダンスが、自分の将来進みたい分野を考えるきっかけとなった生徒もみられました。是非、総合探究や蕎麦プロをはじめとした、湖南高校での皆さんの取組を自身の進路実現につなげることができるよう意識して活動しましょう。皆さんの進路実現のために全職員がしっかりサポートしていきます。

猪苗代子

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡ください。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。

『湖南高校公式インスタグラム』はこちら